

第4次太子町男女共同参画プラン（案）に係るパブリックコメント制度に基づく提出意見及び意見に対する町の考え方

- 意見募集期間：平成31年1月15日（火曜日）～平成31年2月13日（水曜日）（30日間）
- 意見提出者数：4名（A、B、C、D）
- 意見数：4件
- 意見及び町の考え方：以下のとおり

第4次太子町男女共同参画プラン（案）

| 意見 提出者 | 項目 | 提出された意見の概要 | 提出された意見に対する町の考え方 |
|-----------|--|---|--|
| A | 基本目標 1 基本課題 3 施策の方向 6 （28 ページ） | ボランティア活動を通じて、性別や世代を越えた学びがたくさんあるため、若い世代の男女が活動に参加できる下記の取組に期待している。 「男女ともに、積極的に地域に関心を持ち、地域活動・NPO・ボランティア活動に参加・参画するよう働きかけます。」 ●地域団体・NPO 法人・ボランティア組織などへの活動に関する情報提供 | ご意見のとおり、男女が共に地域活動などに参加いただくことが、地域の活性化につながりますし、活動される方の学びや交流にもつながると考えます。 広報・啓発活動や情報提供によりまして、男女が共に地域活動に参加する意識の高揚や環境づくりを推進します。 また、行政と、地域に根差した活動をされている地域団体・NPO 法人・ボランティア組織などが協力して、男女が共に活躍する地域づくりを進めてまいります。 |

第4次太子町男女共同参画プラン（案）

| 意見 提出者 | 項目 | 提出された意見の概要 | 提出された意見に対する町の考え方 |
|-----------|--|---|--|
| B | 全体 | <p>平成29年度の住民意識調査を実施し、平成30年度の推進本部やプロジェクトチームが編成され、町の現状把握や課題を確認し、策定委員会での協議を経て、「女性活躍推進法」を盛り込んだ第4次プラン案が出来上がったことと数値目標を検討し、毎年積み上げられていることに一定の評価をする。</p> <p>ただし、20歳代後半の子育て世代の労働力率が低いことが気になる。</p> <p>太子町は年少人口比率や合計特殊出生率が他市町と比較すると高いという統計から「若いまち」であると考えます。</p> <p>これは、男は仕事、女は家事・育児といった固定的な役割分担意識が根強く残っているのではないかと考える。</p> <p>また、男性の意識が低く社会環境の整備もされていないのではと危惧する。</p> <p>誰もが生き生きとした生活を送れるよう、第4次プランが絵に描いた餅とならないよう、男女共同参画の推進事業を展開していくことを希望する。</p> | <p>子育て世代の女性の労働力率が低い理由としては、様々な要因が考えられますが、やはり固定的な役割分担意識は根強く残っており、家庭や職場といった社会全体で男女共同参画意識が浸透していないことや保育園などの子どもを預ける環境が充足していないことが大きな原因であると考えます。</p> <p>平成29年度に実施した住民意識調査でも、「女性が働き続けるために必要なこと」という設問で“保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備”、“男性の家事参加への理解、意識改革”の順で高い結果となりました。</p> <p>女性の20歳代後半における労働力率の低さと住民意識調査の結果は、太子町においても具体的な取組の必要性が増していることを物語っています。</p> <p>第4次太子町男女共同参画プランに基づき、太子町の特長である「若いまち」を持続していけるよう、本プランに基づき事業を進めてまいります。</p> |
| C | 基本目標 2 基本課題 5 施策の方向 10 (37 ページ) | <p>介護支援の充実はもちろんのこと、広報・啓発を推進するなかで、個々のケースにおけるニーズに合うサービスを具体的に町民にどのように知らせていくのか。</p> <p>介護でなるべく家族に負担をかけないように、予防方法などを介護体験者からの意見を取り入れて知りたい。</p> <p>町広報や回覧などを活用できるのではないかと。</p> | <p>全国的に団塊の世代の高齢化に伴い、今後、認知症高齢者の増加が見込まれるなか、要介護状態となることを予防し、また要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に取り組むことの必要性が高まっています。</p> <p>社会全体に介護予防の知識を広め、要介護者の減少を図るとともに、介護支援事業の情報発信、介護支援者への理解の促進により、仕事と介護の両立を進めることが重要と考えます。</p> <p>そうした介護に関する情報の提供については、広報やホームページを中心に、出前講座やいきいき百歳体操事業などのあらゆる場を通じて情報発信していきます。</p> |

第4次太子町男女共同参画プラン（案）

| 意見 提出者 | 項目 | 提出された意見の概要 | 提出された意見に対する町の考え方 |
|-----------|--|---|---|
| D | 基本課題 2 基本課題 5 (32 ページ) | <p>私が他県からこの町へ引っ越してすぐに「婦人会」の役員が回ってきたが、女性ばかりがひたすら活動する姿に驚いた。</p> <p>友人には、昔話を聞くように驚かれましたが、「子育て学習支援センターのびすく」の存在を羨ましがられた。</p> <p>町内には、「児童館」や「まちの子育てひろば」などがあるが、「のびすく」はそれと異なるものである。</p> <p>① その場限りのものでなくクラスがあり、同じメンバーでクラスメイトとして毎週集うことができ、母親が孤独を感じにくい。(隔週や月1のクラスもあり良い)</p> <p>② 間借りスペースでなく専用の施設だったので、クラスが終わった後、あるいは他の空いている日は子供達の遊びスペースとして、母親達は気軽に集える場所としても自由に利用できる(クラスの後皆でおにぎりを持参し残って遊んだり、母親達で手芸やコーラスグループを設立して、子供を傍らで遊ばせながら楽しんでいる方達もいた)</p> <p>③ コンセプトがしっかりしており、のびすくは託児所でも幼稚園のプレスクールでもない、まさに子育て学習の場であった。</p> <p>スタッフの方々も皆とても温かく、「お母さんのお母さん」という感じで、母親達が学び、時に甘えながら母親になることを学んだ日々であった。</p> <p>④ 母親が自分達で考え、イベントを企画したりした経験からか、町内のPTA役員やボランティア等の活動をするのびすく出身の母親が非常に多い。</p> <p>現在は、地区公民館を間借りして活動している状況であるが、ぜひ良い形で残してほしい。</p> <p>のびすくは、働くお母さんにこそ、保育園とは違う経験を味わってもらいたいし、これからは母親だけではなく父親や祖父母といった家族皆が訪れる場所になると良いと思う。</p> | <p>「子育て学習支援センターのびすく」は、親としての自覚を育て、自信をもって楽しく子育てができるよう様々な活動や機会を提供する両親教育の場です。</p> <p>幼稚園や保育所、児童館といった子ども主体の場との両輪で子育てを支援しています。</p> <p>のびすくに集まった親が、子育てを通して抱える思いや悩みを共有し、子どもと一緒に成長することで、親子の絆を育み、子ども達の健全な成長環境につながると考えます。</p> <p>ご意見にもあるように、のびすくに参加することで、地域とのつながりを築き、その後の地域活動への参画する意識の向上にも寄与していると考えています。</p> <p>今後も、のびすくのより良いあり方を検討しつつ、活動内容や意義を広く周知し、参加者数の増加、家族ぐるみで参加してもらえるような環境の整備を推進します。</p> |